

日点委通信

No.35

2019年11月1日発行

「表記法」の普及と点字研究の活性化を目指して

日本点字委員会会長 渡辺昭一

2018年6月に第6代会長に選出されて以降、『日本点字表記法 2018年版』の発行に向け全力を傾注してまいりました。お蔭様で、「表記法」改訂版編集委員会をはじめ、委員・事務局員等の絶大なご協力を得ることができ、2019年3月に発売することができました。改めて、関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

またこの間、日本盲人社会福祉施設協議会（情報サービス部会及び点字出版部会）・日本点字技能師協会等から、「表記法」についての説明の機会を頂戴いたしました。今後とも、そのような機会がございましたら、是非ともお声かけください。

一方、「表記法」発売の前後に、『点訳のてびき 第4版』・『点字表記辞典 第7版』が発行され、各書籍間の相違点等に注目が集まりました。私は、「てびき」の外来語の切れ続きに着目し、検討の経過を、本年6月の日本点字委員会研究協議会で発表する機会を得ました。また8月には、技能師協会の研修会で、「表記法」の切れ続きの幅と、「てびき」・「辞典」の用例の比較について検討経過を発表させていただきました。

このように、点字の研究と発表の場をいただいたことに感謝しつつ、当面は、「表記法」改訂を受けた、医学用語や試験問題の点字表記の見直しにも取り組んでまいります。今後とも、皆様のご支援・ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

『日本点字表記法 2018年版』の発行について

日本点字委員会は、点字表記法の17年ぶりの改訂となる『日本点字表記法 2018年版』を発行しました。点字版・墨字版それぞれについて、書籍版と電子データ版があります。

■書籍版

点字版発売元 社会福祉法人日本点字図書館

価格 全3巻 7,500円

URL <https://www.nittento.or.jp/sale/sales.html>

墨字版発売元 株式会社博文館新社

価格 1,400円（本体価格）

ISBN 978-4-86115-167-5

B5判 214ページ

URL <http://www.hakubunkan.co.jp/>

※墨字版は、日本点字図書館、日本ライトハウス、京都ライトハウス、日本視覚障害者団体連合ほか、一般書店、ネット書店より、ご注文いただけます。

■電子データ版

点字データ版 … KGS社製ブレイルメモシリーズの中だけで使用可能なbmtデータ。（全3巻を1ファイルにまとめています）

点字データ版価格 1,400円

墨字データ版 … 文字検索、注釈書き込みが可能で、文字部分はスクリーンリーダーで読み上げ可能なPDFデータ。（墨点字は正しく読むとは限らない。印刷・コピーは不許可。購入者名が透かしとして入ります）

墨字データ版価格 1,000円（団体向け販売はありません）

入金確認後、メール添付等の方法で提供します。

発売元 日本点字委員会

2019年11月1日より発売

記念誌『むつぼしの輝きを求めて』の発行について

『むつぼしの輝きを求めて－日本点字委員会50年のあゆみ1966～2016－』を発行しました（墨字版、点字版同時発行）。日本点字委員会創立50年記念事業の一つとして企画したのですが、発行が遅延したことをお詫びします。

点字版は、日本点字委員会ホームページにデータをアップします。

墨字版は、1部1,000円で頒布いたします。

なお、点字図書館、点字出版所、盲学校には墨字版を寄贈します。

2019年度研究協議会並びに第55回総会報告

2019年6月1日（土）～2日（日）、日本ライトハウス情報文化センターで、標記の協議会・総会を開催した。委員23名、事務局員4名、会友8名、オブザーバー等31名、計66名の出席があった。

総会

(1) 委員、事務局員の交代について

- ①盲人社会福祉界代表委員、山本令子氏（東京ヘレン・ケラー協会）から吉良厚子氏（同）に、加藤三保子氏（福島視覚情報サポートセンターにじ）から野々村好三氏（京都ライトハウス情報ステーション）に交代した。
- ②全国盲学校長会からの学識経験委員が、和内正也氏（横浜市立盲特別支援学校）から長尾一氏（同）に交代した。
- ③事務局員の畑中優二氏、畑中真弓氏が辞任し、鈴和代氏が承認された。

(2) 本年3月に『日本点字表記法2018年版』が発行された。この発行をもって『日本点字表記法』改訂版編集委員会は解散した。

(3) 『数学・情報処理点字表記解説 2019年版』および『理科点字表記解説 2019年版』を2019年度中に発行する。点字教科書発行のために、文科省に係る資料を持参した。

(4) 『日本点字表記法2018年版』発行に伴う、日本点字委員会が過去に定めた他の規則類の扱いについて。

- ①『点字数学記号解説暫定改訂版』『点字理科記号解説暫定改訂版』および『試験問題の点字表記第2版』については、新版が出るまで断り書きを入れて対応する。
- ②「医学用語の点字表記について」も見直しを行う。

研究協議

- ①宮村健二委員より、「新3章と医学用語の切れ続き」の発表が行われた。

(要旨) 2拍以下の物の名前に4拍以下の名詞成分が後続する、行動を有する語は、意味上の考察において、要素間に文法的関係が生きていると認める場合は、要素の独立性が強いとみて、要素間を区切る。また、要素間に文法的関係が生きているとは言いがたく、語全体の一体性（独立性）は優先すると認めるときはひと続きに書き表す。

- ②渡辺昭一委員より「新版「表記法」・「てびき」と外来語の切れ続きの検討」に基づき説明があった。

(要旨)

a. 複合名詞の切れ続きの基本方針として、「表記法」では、複合名詞の構成要素が独立性の強い意味のまとまりかどうか注目している。一方、「てびき」においては、複合名詞の構成要素については言及せず、内部に自立した意味のまとまりが二つ以上あるかどうかで判断することになる。

b. その上で、「てびき」においては、外来語の切れ続きについて、語種と拍数・

自立性の判断・アルファベットを含む複合語の詳細な規則等を定めている。また、カタカナ語で書き表された固有名詞の規則等も定めている。これらは、「表記法」の規定から1歩も2歩も踏み込んだ表現となっており、疑問点を多く含んでいる。

③数学・理科・情報処理記号専門委員会の加藤俊和委員長より「『数学・情報処理点字表記解説 2019年版』および『理科点字表記解説 2019年版』の内容について」に関して説明があった。

(要旨)『点字数学記号解説 暫定改訂版』『点字理科記号解説 暫定改訂版』の改訂として発行する。「情報処理用点字表記」は「2001年版」の巻末に掲載されていたものを「数学解説」に含めた。記号だけの解説ではないので「表記解説」とした。今後も改訂される可能性があるので、「2019年版」の書名とした。

④福井哲也委員より「日本におけるUEBの普及と「みんな悩んでるUEB問答集」編集の取り組み」の資料に基づいて発表があった。

(要旨)

a. サピエ図書館のコンテンツにみるUEBの普及状況。2017年の下期で、UEBとEBAEのタイトル数は逆転し、総ページ数は、2018年の下期にUEBが大きく上回った。英語点字図書を手がける施設・団体数に変動はなく、UEBのコンテンツをアップロードする施設・団体が増加している。

UEBが導入されたから英語点訳をやらないということはない。逐次刊行物はUEBへの移行が100%。一方、登録図書は1,600タイトル中80タイトルしかないので高校3年以下のUEB世代にはサピエ図書館のほとんどの英語図書が活用しにくい状態にある。

b. 「規則が分かれば点訳できる」わけではない。各地の点訳ボランティア、点字図書館、出版施設からの質問をまとめた「みんな悩んでるUEB問答集2017~18年まとめ」を作成した。(申込み先 ueb@lighthouse.or.jp 日本ライトハウス点字情報技術センター 福井哲也氏)

日本点字委員会

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1丁目23番4号 日本点字図書館内

電話 03(3209)0671 FAX 03(3209)0672 振替口座 00100-1-42820

ホームページ <http://www.braille.jp/>